

# 豊南小学校・校長室だより

平成 29 年 (2017 年) 5 月 22 日  
発行者 西山 博章

第 10 号  
(通算 96 号)

お久しぶりです！！

児童数配布

前回、家庭訪問の途中で第 9 号を書いてから 10 日ほどたちます。この間、季節は一気に進み、昨日、今日はもう夏のような暑さです。昨日のニュースでも報道していましたが、熱中症の症状で救急搬送された人が、日本全国で昨日一日でかなりの数にのぼっています。寒い季節から急に気候が変わり、体がその変化についていけない状態なので、こういうときは真夏以上に「熱中症」になりやすいようです。

実は、私も何年前かに熱中症になったことがあり(決して自慢?ではありませんが)、そのときの経験でいうと、外で草引きをしていたとき、水分はこまめにとっていたのですが、『もうちょっと』と思いながら作業をしていたところ、いきなり「くらくら」と目まいがして、立てなくなってしまったのです。『これはまずい!』と思い、近所のお医者さんへ連絡して何とか駆け込んだのですが、そのあと数時間にわたって点滴をしてもらい取りあえずは夜には家に帰ることができましたが、しばらくの間は、体調がもどらず大変だったことを思い出しました。

今日、全校朝会があったので、子どもたちには、熱中症に注意するよう話をしたところです。ずっと日があたるところで遊ぶのではなく、ときどき日陰を見つけてそこに入るとか、お茶や水といった水分を「喉が渇くまでがまんせずに」ときどき「しっかりと」とすることも大切です。学校では、外の温度をみながら教室は担任の先生がエアコンを入れてくれているので暑い外で動いたあとは体を冷やすこともしています。

お家でも、外遊びをしたあとの子どもの様子などには十分気をつけておいてください。

## ☆☆☆6年生が、全校朝会で修学旅行に向けての「折り鶴集会」をしました！

6年生は今、6月に行く「広島」への修学旅行に向けて、「平和」「戦争」について勉強しています。その中で、広島へいったときに、平和への願いを込めて豊南小学校の皆で折った鶴を千羽鶴にして平和記念公園で捧げます。その鶴にまつわる話を今日の全校朝会で在校生に説明してくれました。ついこの間まで「5年生」と思っていたのに、こんなしっかりした話を「説得力」をもって1年生や2年生にもわかりやすくして話してくれた姿にちょっぴり感動しました。昨年も書いたと思うのですが、いわゆる『平和教育』は今、まさに転換期に差し掛かっていると思います。戦争の生き証人とも言える、実際の「体験者」の方々が高齢になり、教育の現場でも実体験をもたない世代ばかりになってきていることを考えるとき、次世代を担う子どもたちに、「戦争」のことや「平和」を維持することの大切さ、そして難しさをいかにして伝えていくかということが大きな課題となっています。

平和教育に限らずどんな学習でも、机上の学習だけでは「自分自身のこと、自分自身の将来につながること」として「考え」させることは難しく、子ども自身が「感じる」ことがなければ学習は成功しません。先生たちは、日々そういったことを懸命に模索しながら子どもたちに向き合っています。(頭がさがります!)

## ☆☆☆AAE(動物介在教育)について、朝会で子どもたちに話をしました！

以前から校長室だよりで書いてきました、AAEについて、先日ご家庭にご協力をお願いしました「犬に対するアレルギー等調査」の結果集計が一定でたところで、パソコンでスライドを使って説明しました。

東京の立教女学院小学校での先進的な取組みのことにも触れながら、犬が学校に来ることで、子どもたちにどんなことを学んで欲しいのかをゆっくりと説明しました。『他者に思いやりをもつこと、あいての気持ちを考えられるようになってほしいこと、人としっかりとコミュニケーションがとれるようになってほしいこと、勉強をがんばるようになってほしいこと等々』…あわせて、犬と楽しく安全に過ごすための「ルール」も話しました。『むやみにさわらないこと、むやみに話しかけないこと、むやみに目を見ないこと、犬の前では絶対に走らないこと、犬に会うときはハンドラー(私のことです)がついているときにかぎること、そして、犬に会えるのは「20分休みと昼休憩」にみどりんパークで、必ず担任の先生にことわってから来ること、アレルギーなどのある人は来ないこと、また犬にあったあとはしっかりと手洗いをすること、がんばって授業を受けることを約束できること等々』です。最後に、いつ学校に来るかということですが、それは不定期(ハンドラーである私の出張等が関係します)ですが、学校に来ているときは校長室のドアの横に「レイ君きてます!」というふだをかけておくことにします。(当面は実際には月に数回来れるかどうかということですので)ちなみに調査の結果は、フィジカルアレルギーの項目にチェックがあった子どもが、延べ人数で39名、メンタルアレルギー(追いかけられたりした経験で怖いと感じていたり)にチェックがあった子どもが、延べ人数で83人。一方、「まったく問題ない、触れ合いたい等」プラス要因にチェックがあった子どもが、「犬の出産や亡くなる場面に立ち会ったことがある」というプラスの特殊要因にチェックがあった子どもをあわせ、延べ267人という結果になっていました。この結果をふまえ安全等には十分に留意しながらプログラムを進めていきますのでご理解いただきますようお願いいたします。

To be continued (次号に続きます)

